

存在

私は究極の暑がりです。他の人がガタガタと震えるほどクーラーを効かせた部屋の中でも、私は全然平気です。周りの人は大変ですよ。逆に周りの人に合わせて温度を上げると、今度は私が汗びっしょりになってしまいます。どちらもちょっぴり歩み寄りなければ、どちらか片方がひたすら我慢するしかありません。歩み寄りの距離が少なければ少しの我慢を持ち寄れば歩みますが、私のように極端な場合は、「人と違う」ことが苦痛です。

人それぞれに「基準」があります。何事もこの基準が判断材料となります。同じ事実でも、判断基準が異なると評価も真逆になってしまいます。ある人からみれば「褒められる」出来事も、違う基準から見れば「怒られる」ことにもなりかねません。いちいち基準で評価が変わってはは大変です。

ひょっとしたら、この「基準」がなくなれば、人は褒められることも怒られることもなくなるのかもしれませんが。もちろん集団を維持させるための規則は必要でしょう。そのような極論ではなく、もっと自然な発想として「無条件に認める」ことの大切さに気付いて欲しいのです。基準の介入を許さない最も基本的なもの、それは一人一人の「存在」です。

誰でも、人として幸せな人生を歩む権利があります。得意や失意に関わらず、私達はこの世に生を受けただけでも既に何にも代えがたい尊い存在なのです。学校ではお互いが集団生活を維持する上での大切な我慢や歩み寄りを学びます。それ以上に、「自分と他人の違い」を認め合える多様性を受け入れる心も学んでほしいのです。自分も他人も同じように大切にしたいですね。

【来週の予定】

| 日 曜 | 学年 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|----------|-----|----|----|----|----|------------|----|----|
| 22 日 (月) | 全学年 | 月① | 月② | 月③ | 月④ | 月⑤ | 月⑥ | 月⑦ |
| 23 日 (火) | 全学年 | 火① | 火② | 火③ | 火④ | 火⑤ | 火⑥ | 火⑦ |
| 24 日 (水) | 全学年 | 水① | 水② | 水③ | 水④ | 生徒総会② | | 水⑦ |
| 25 日 (木) | 全学年 | 木① | 木② | 木③ | 木④ | 木⑤ | 木⑥ | 特活 |
| 26 日 (金) | 全学年 | 金① | 金② | 金③ | 金④ | プレミアムフライデー | | |

amas café 来週の日替わりメニュー

| 22 日 (月) | 23 日 (火) | 24 日 (水) | 25 日 (木) | 26 日 (金) |
|-----------------|---------------|----------------|---------------|-----------------|
| とり天うどん 炊込みご飯 | ちくわの はさみ揚げ | 唐揚げ チリソースかけ | ルーロ飯風 どんぶり | チキンカツ トマトソース |

♪今日のイイね♪



前々号で紹介した野中綾人君

何と！

福井県で開催されていた
第 18 回全国障害者スポーツ大会
卓球部門で全勝優勝を果たしました

優勝と言う結果ももちろんですが…
全校生徒が好きな何かに取り組む
そんな「自己表現」の大切さを
全員で共有できれば
それこそが一番嬉しいですよ！